

令和元年度大阪エコ農産物の残留農薬分析結果について（12月実施分）

大阪府環境農林水産部農政室推進課

1 目的

大阪エコ農産物の安全・安心の確保に向け、農薬の使用状況と残留農薬を調査し、生産者に対して農薬の適正使用の指導を行う。

2 分析期間

令和元年12月9日～12月11日

3 分析農薬の種類 50農薬

4 検査機関

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

5 分析結果

6種類の作物について、計10検体調査を行いました。

食品衛生法に基づく残留基準値を超える検体はありませんでした。

表 分析結果

作物の種類	エコ栽培基準 (農薬上限使用 延成分回数)	分析 検体 数	農薬が 検出さ れた検 体数	検出された農薬の成分名	残留 濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
水稲	7	3	0	—	—	—
温州みかん	10	2	1	ジノテフラン	0.04	2
みずな	3	2	0	—	—	—
こまつな(施設)	3	1	0	—	—	—
しゅんぎく(施設)	3	1	0	—	—	—
ブロッコリー	6	1	0	—	—	—

*1 農薬取締法、食品衛生法、エコ農産物の栽培基準のいずれにおいても問題ありません。

温州みかんで検出されたジノテフランは、かんきつ（温州みかんも含まれます）に登録があり、適正に使用されたものです。